

1

**Aさん (92歳女性)
心不全末期**

高齢者介護施設にて療養されているAさんは、慢性心不全のため、今まで入退院を繰り返していました。しかし、入院のたびに不穏となり、点滴を自己抜去するために身体の一部を拘束しなければいけませんでした。娘さんはお母さんが苦しむ姿を見たくない思いがありました。先週から感冒症状から、心不全が悪化してきました。KPの娘さんは、入院治療がよいか、それともこのまま高齢者施設で在宅療養を受けながら療養を継続するとよいか悩んでいます。

当会は国法人ネットオフライフ・ケア協会



2

ACPにおけるコミュニケーションの役割

ジレンマとは、ある問題に対して**2つの選択肢**が存在し、そのどちらを選んでも何らかの不利益があり、態度を決めかねる状態を言います。人生の最終段階では、判断に迷う場面が多くあります。

図解説：A? B?
どちらも悩む中で、1つを選ばなければなりません。

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会 内部の無断転載を禁じます

3

意思決定支援におけるコミュニケーションの役割

たどいのちが限られる絶望の中でも、希望の灯を見つける可能性があります。

▶ **ユニバーサル・ホスピスマインド**

プラスの気持ち
(安心・安堵・生きていて良かった・幸せ)

マイナスの気持ち
(不安・心配・もやもやする・迷惑ばかりかける)

All rights reserved. copyright End-of-Life Care Association of Japan

4

目の前に苦しむ誰かを想像してみてください
その人が笑顔になれる方策を考えてみましょう

All rights reserved. copyright End-of-Life Care Association of Japan

5

ユニバーサル・ホスピスマインド

相手

- 希望
- 現実
- 苦しみ
- 支え (時間・周囲・自体)

私(援助者)

- キヤッチする
- キヤッチする
- 3
- 4
- 5

援助的コミュニケーションの基本
～苦しんでいる人は自分の苦しみをわかってくれる人がいるどううれしい～

エンドオブライフ・ケア協会
End-of-Life Care Association of Japan

6

1

Aさん（92歳女性） 心不全末期

入院をした方がよいか、このまま施設で療養した方がよいか、娘さんが迷っています。娘さんの力になりたいと願っているスタッフが声をかけました。

スタッフ：入院して治療することはいかがでしょうか？

Aさん：多分手足を縛られるから、入院させたくない

スタッフ：では、このまま施設で過ごすのはいかがでしょうか？

Aさん：もしかしたら治療が不十分でなくなってしまうかもしれない…。

スタッフ：なかなか決められないのですね。

あなたの気持ち、よくわかりますよ。

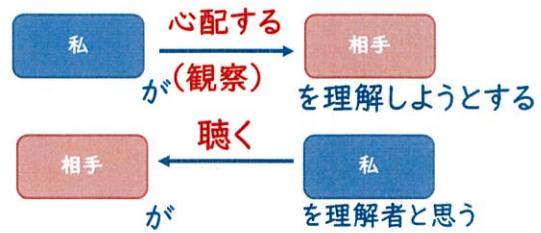
Aさん：…あなたに、私の気持ち、わかるはずない…。

©一般社団法「エンドオブライフ・ケア協会」



7

ほんとうに苦しんでいる人の
気持ちを理解できるでしょうか？



All rights reserved. Copyright © End-of-Life Care Association of Japan.

8

援助的コミュニケーション

伝えたい
こと

私

相手

1. 伝えたいことをキャッチする
2. 伝えたいことを言葉にする
3. 言葉にした伝えたいことを相手に返す
(反復の技術)

わかつても
らえたと思
える

自分の伝えたいことが
わかつてもらえたときに
思わず出てしまう言葉

そうなんです

©一般社団法「エンドオブライフ・ケア協会」

9

演習

「対」の対応を学ぶ

10

3つの約束

1. メモを取らない
2. 語尾は「ね」で終わる
3. 安心感のある態度で聞く

©一般社団法「エンドオブライフ・ケア協会」

まとめ



苦しんでいる人は、
自分の苦しみをわかってくれる人
がいるうれしい

相手から見て
「わかってくれる人」
になるには…

相手の伝えたい
言葉をしっかり聞いて、
反復しよう！

苦しんでいる人は

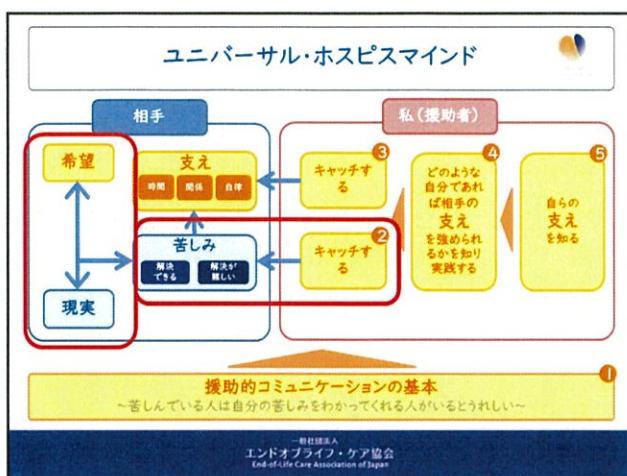


「わかってくれる人」がいるだけで、
まっくらに思っていた世界のなかでも、
1つのあかりを見つけることができるでしょう

All rights reserved. Copyright © End-of-Life Care Association of Japan.

11

12

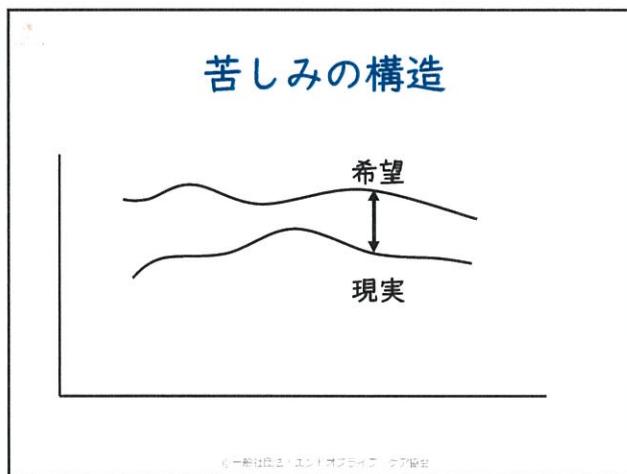


13

問い合わせ
どうしたら、相手の苦しみに
気づく感性を磨くことが
できるのでしょうか？

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

14



15

苦しみは2つに分けて考える

1. 解決できる苦しみ

- ・痛みに対して適切な症状緩和を提供する
- ・希望する医療・希望しない医療について尊重する

2. 解決が難しい苦しみ

- ・まだやりたいことがいっぱいあるのに…なんで？
- ・これからいったいどうなるのだろう？

16



17

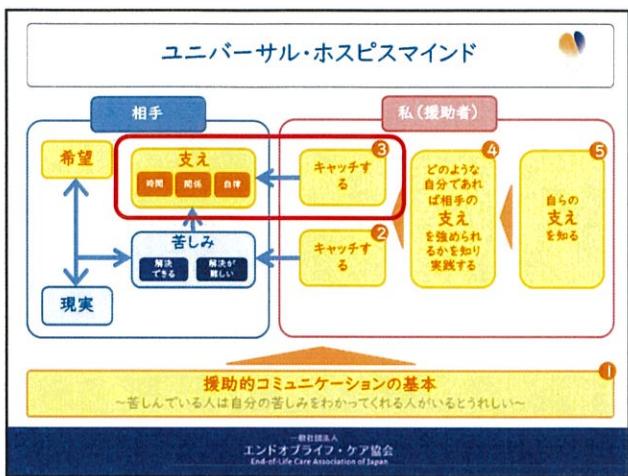
解決が難しい苦しみ

なんで私… ?

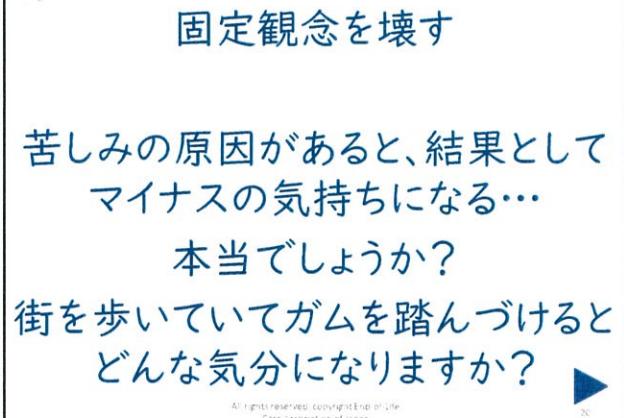
理不尽な苦しみを前に
私たちは時に言葉を失います

一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会

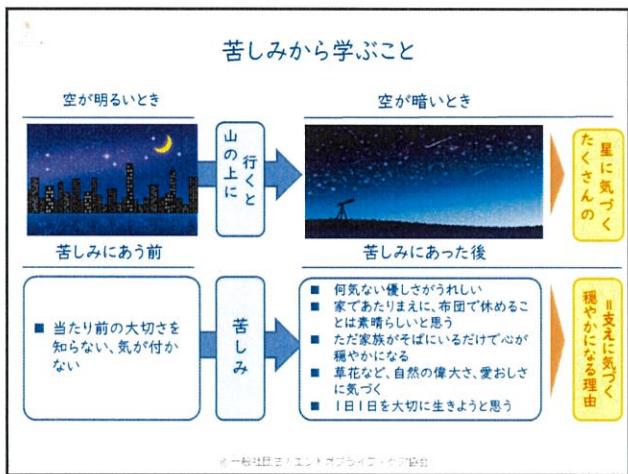
18



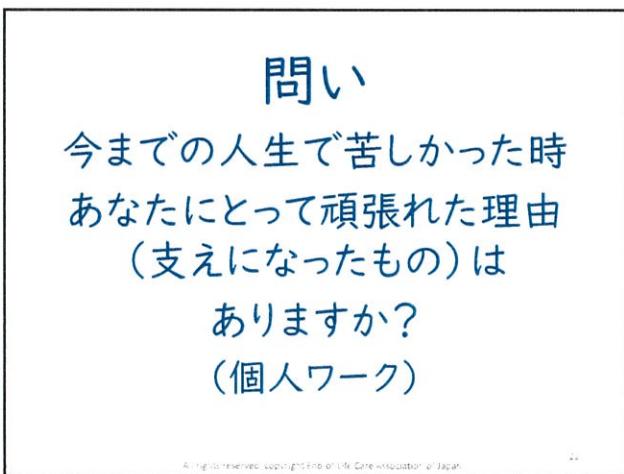
19



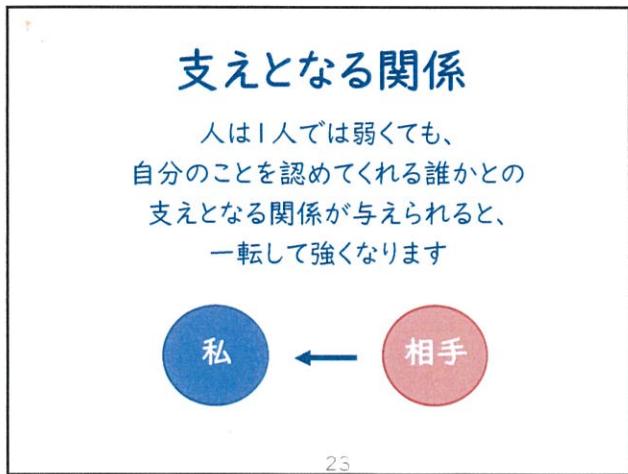
20



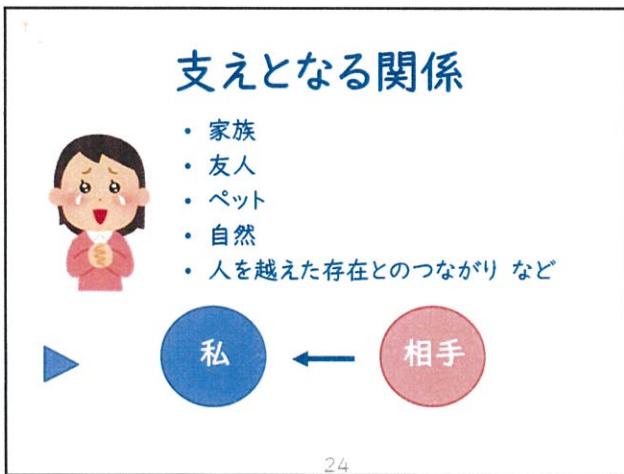
21



22



23



将来の夢

人は、過去の体験から生まれた将来の夢に向けて、今を生きようとします

たとえ今がつらくても、将来の夢があるとき、生きようとする力が与えられます

25

25

選ぶことができる自由 (基本的人権)

選ぶことができないと苦しい

選ぶことができると嬉しい

一人の人間として選ぶことができる自由は、基本的人権です。

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

26

自分がもしがんであと3ヶ月のいのちであれば何を選びたい？

1. 選ぶことができる自由

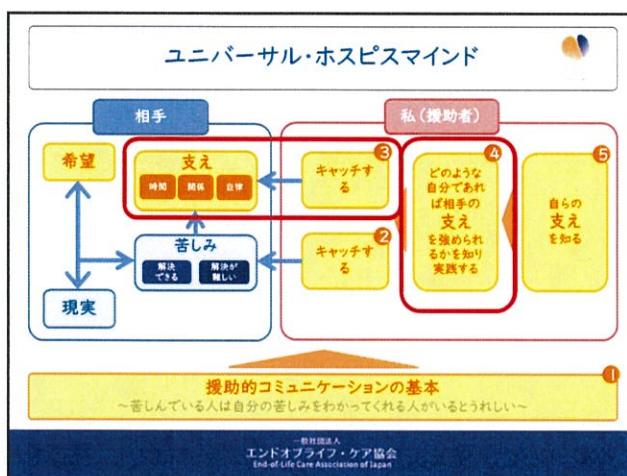
- ①療養場所：どこで過ごしたいか
- ②心がおちつく環境・条件：何が必要
- ③尊厳：大切にしてきたこと、誇り
- ④希望：希望すること、希望しないこと
- ⑤保清：下の世話をゆだねるのか
- ⑥役に立つ、役割：人生の教訓を教える
- ⑦ゆだねる：こだわってきたことをゆだねる
- ⑧栄養：口から食べること、点滴など
- ⑨お金：介護費用、相続など

2. 支えとなる関係：家族、友人、スタッフ

3. 将来の夢：天国から家族を見守るなど

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

27



28

具体的な対話の練習

Aさん、認知症・老衰

衰弱の進行から、ほぼ寝たきり状態です。食事がほぼゼロの状態が続きます。経過より短い日の単位の予後が、予測されています。家族が面会にきました。

Aさんも家族も笑顔になることはできるでしょうか？

Copyright © 2014 End-of-Life Care Association of Japan

29

具体的な対話の練習

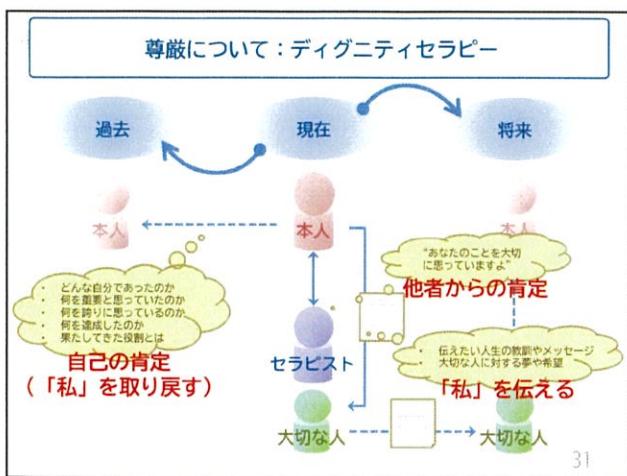
2人ペアになります。

家族役：利用者さんが、誰にあたるかを決めてください。その人を思い浮かべながら、どんな人か、何を大切にしてきた人かを考えておいてください

聴き役：面会に来た家族と、利用者さんのことで対話を行います

Copyright © 2014 End-of-Life Care Association of Japan

30



31

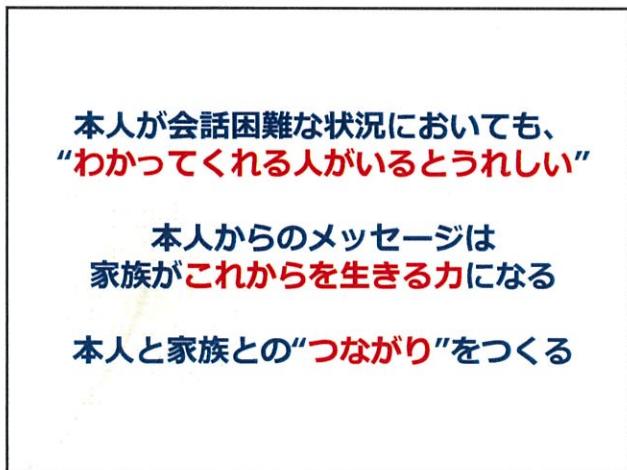
会話が困難なケース

老衰・認知症では、会話が困難なことがあります。それでも、笑顔になる可能性はあります。

首をたてにふる言葉を探しましょう

Copyright Reserved. Licensee: Lifespan Learning Center, Kyushu University of Japan.

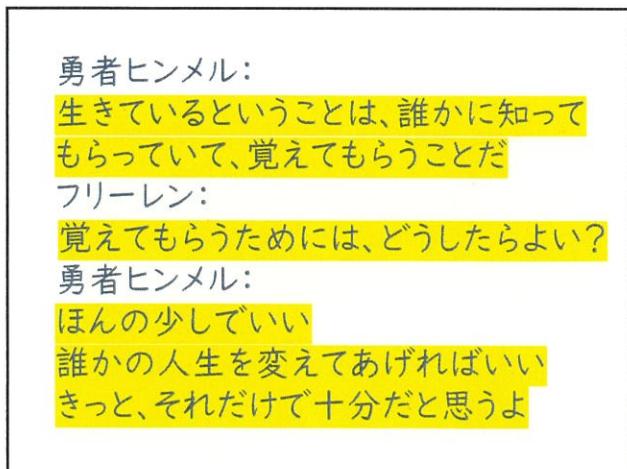
32



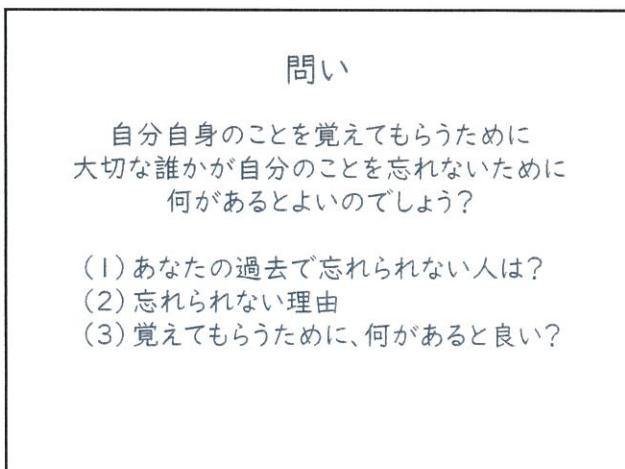
33



34



35



36



37

エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座

動画による事前学習あり

日時 日曜日1日または平日夜3回

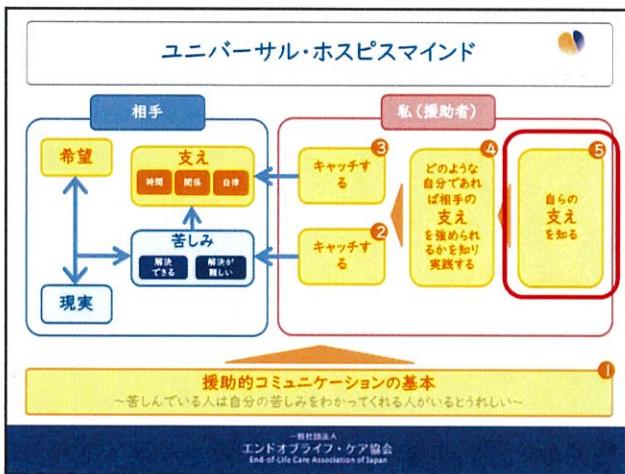
会場 現地会場またはオンライン

申込 <https://endoflifecare.or.jp/programs/>

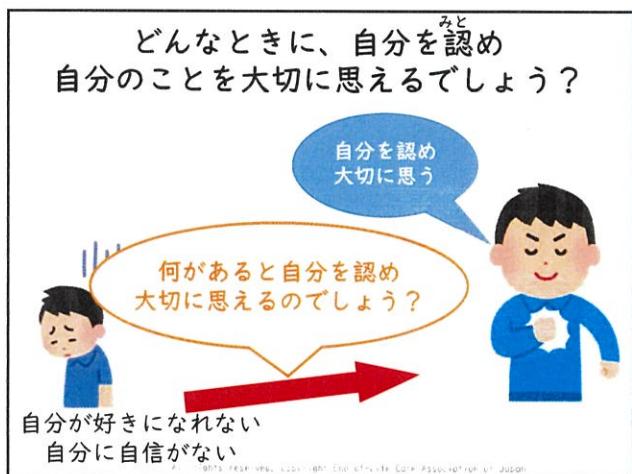
学習内容

- ◆ 課題背景とユニバーサル・ホスピスマインド
- ◆ 人生の最終段階に共通する自然経過
- ◆ 苦しむ人への援助と5つの課題
- ◆ 意思決定支援
- ◆ 自宅・介護施設で求められる状況緩和
- ◆ 多職種連携で「援助」を言葉にする(マクロ)
- ◆ 1対1で対応する(ミクロ)
- ✓ 援助的コミュニケーション
- ✓ 苦しみをキャッチする
- ✓ 支えをキャッチする
- ✓ 相手の支えを強める(多職種連携)
- ✓ 自らの支えを知る

38



39



40

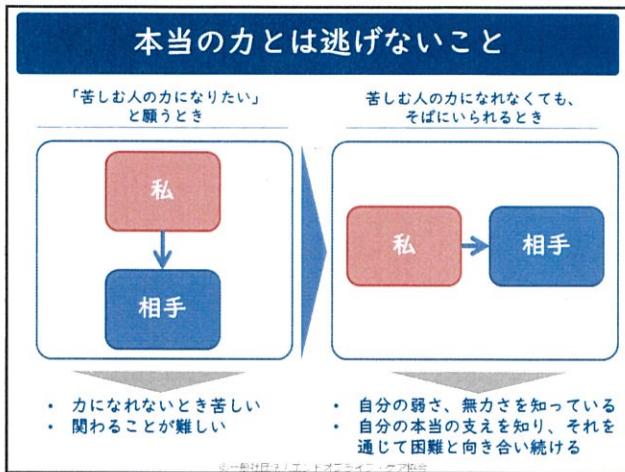
自分が、だからも必要とされていない
と感じるほど、
大きな苦しみはありません。

病気の人だけが苦しむのではなく、
生きている人みんなが持つ
大きな苦しみです。

41

魔法の言葉
苦しんでいる人は
自分の苦しみを
わかってくれる人がいると
うれしい

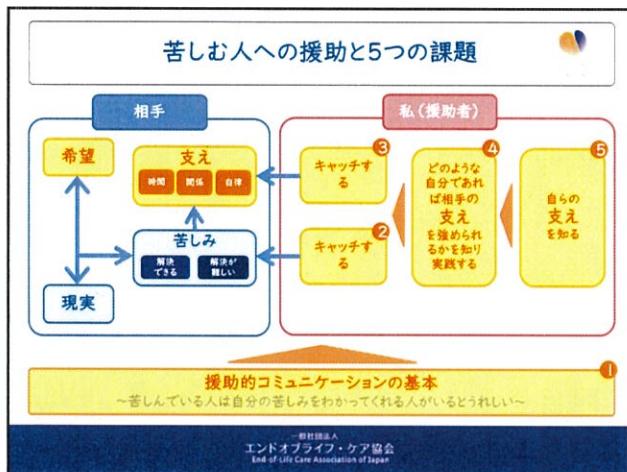
42



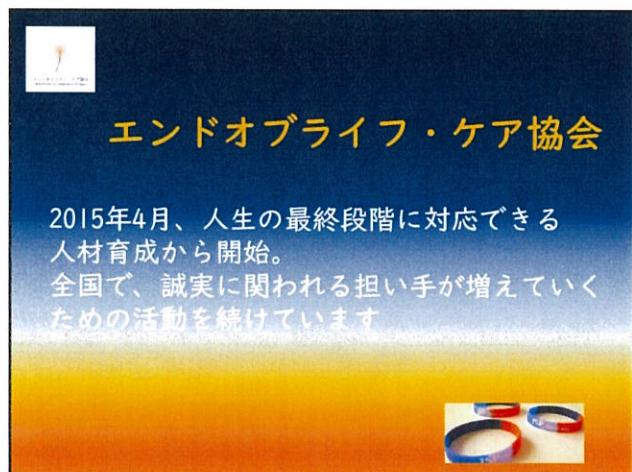
43



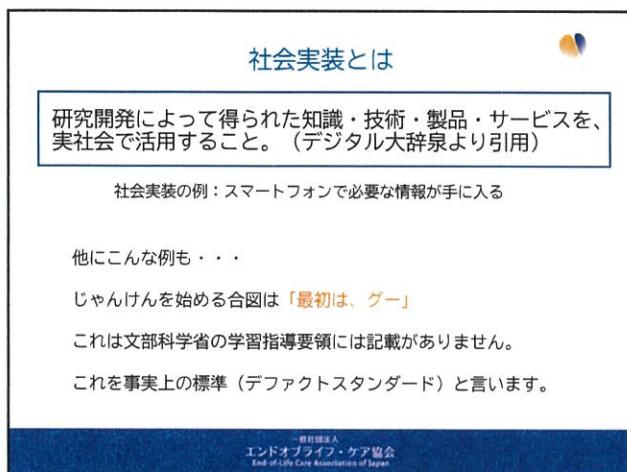
44



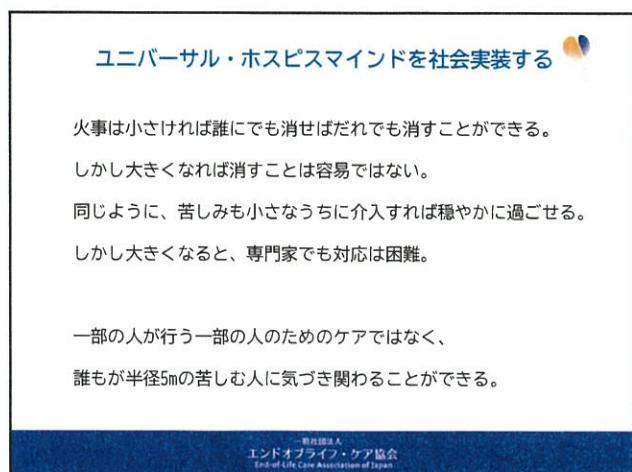
45



46



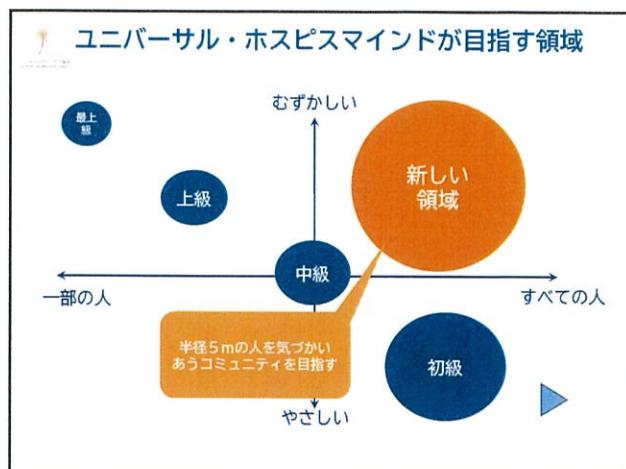
47



48

自分を否定する子どもたちに
ユニバーサル・ホスピスマインドを届けたい

49



50

The screenshot shows a donation page for the End-of-Life Care Association of Japan. The top features a logo of a stylized tree and the text "全国に届けるためにあなたの支援を！" (Your support to reach the entire nation!). Below this is a section titled "継続的なご寄付で応援 ELC サポーター" (Support us with a recurring donation as an ELC supporter). A message from the association expresses gratitude for donations to support their activities. It includes payment method options like credit cards (VISA, MasterCard, American Express, Diners Club) and a QR code for mobile payments. Four orange buttons at the bottom offer donation amounts of 500円/月, 1,500円/月, 3,000円/月, and 5,000円/月, with a note below stating "お子様の寄付を合わせて" (Include your child's contribution).

51



52

53



54



人材育成の輪が拡がるために

会員になって応援をいただけませんか

学びたい人は、ELC養成講座を受けてみませんか

教える人は、ELCファシリテーター・OKプロジェクト認定講師
(いのちの授業) になりませんか

志のある人は、一緒に活動しませんか、待っています！

文献

- 死を前にした人に、
あなたは何ができますか?
(医学書院)



- 折れない心を育てるいのちの授業
(角川書店)

©一般社団法人エリック・オーリー・カーラー研究会